

新・大阪府豊かな海づくりプラン 進捗状況

大阪府環境農林水産部水産課

令和3年度大阪府豊かな海づくりプラン推進懇話会（令和4年3月22日）

新・大阪府豊かな海づくりプラン

位置づけ

- 水産基本法、水産基本計画（H24.3変更）を踏まえ策定
- 府民及び漁業者アンケート結果を反映させ策定

計画期間

- 平成27年4月1日策定
- 平成27～令和6年度（10年間）
- 令和2年3月で策定後満5年を経過したため、SDGs等を踏まえた中間見直しを実施。

進行管理

- 大阪府豊かな海づくりプラン推進懇話会にて毎年度進捗状況を報告し、意見を求める

プランの目標

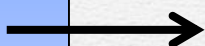
**「はま」が潤い、豊かな恵みを
「まち」に届ける海づくり**

「はま」（漁業地区）の生活が豊かになり活性化するとともに、
「まち」においても豊かな生活の実現をめざすもの

目標を実現するための取組方向及び主な施策

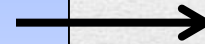
(主な施策・全32施策)

①海や川の環境を豊かにする



漁場整備、栄養塩管理 等

②水産資源を豊かにする



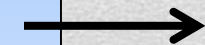
栽培漁業、資源管理 等

③漁業者の生活を豊かにする



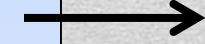
ブランド化、浜の活力再生プラン、
6次産業化、担い手育成 等

④新鮮な魚介類を届ける



イメージアップ、PR、新たな販路開拓 等

⑤海や川の魅力を届ける



イベント開催、希少生物保護、
観光漁業 等

⑥安全・安心を届ける



地震津波対策、貝毒対策 等

「はま」が潤う！

「まち」に届ける！

取組
方向

① 海や川を豊かにする

施策 1

大阪湾の漁業生産力を底上げするための広域的な 漁場整備の推進 <大阪府海域ブルーカーボン生態系ビジョン>

【概要】

- ・水産生物の産卵や幼稚仔魚の育成、地球温暖化の防止に貢献するブルーカーボンの蓄積の場として重要な藻場の創造・保全に向けた行動計画
- ・大阪府南部海域において、藻場の構成種として重要な大型海藻であるカジメ・ガラモを創出するため、海底に着底基質(ブロック)を設置
- ・効率的に藻場を繁茂させるため、漁業協同組合による維持管理や海藻のタネの供給等のソフト対策を一体的に実施

【目標】

- ・計画期間：R4～13年度
- ・今後10年間で新たに22haの藻場を創造し、藻場面積を95haまで回復させる
- ・藻場を22 ha創造すると杉4万本が年間に吸収するCO₂の削減が期待されると試算



取組
方向

① 海や川の環境を豊かにする

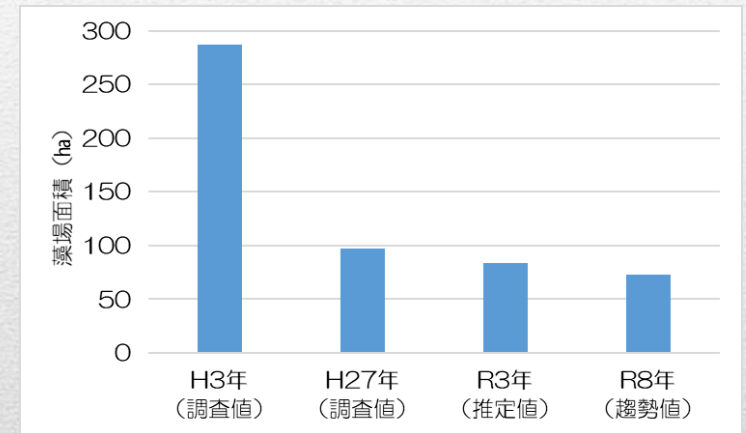
施策 1

大阪湾の漁業生産力を底上げするための広域的な
漁場整備の推進 <大阪府海域ブルーカーボン生態系ビジョン>

【現状と課題】

○大阪府海域全体の藻場面積の推移

- ・H3年に287haあった藻場がH27年には97haまで減少
- ・R3年時点では84haまで減少していると推定
- ・対策を実施しないとR8年には73haまで減少すると推定



大阪府海域全体の藻場面積の推移

○地球温暖化の影響も受け今後も衰退・減少傾向は継続

〈藻場の減少要因〉

- ・海藻が育つ岩場など着底基質の不足
- ・浮泥の堆積や沈下による既設ブロックの機能低下
- ・窒素やリンなど栄養塩類の減少の可能性
- ・植食性魚類(アイゴ)による食害の可能性



浮泥の堆積



食害を受けたカジメ

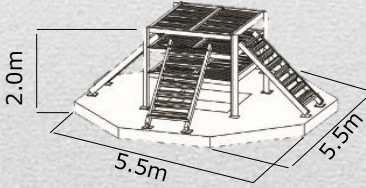
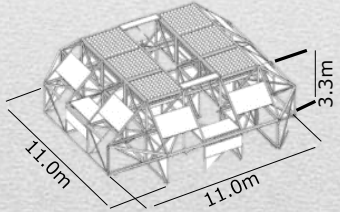
取組
方向

① 海や川の環境を豊かにする

施策 1

大阪湾の漁業生産力を底上げするための広域的な
漁場整備の推進 <大阪府海域ブルーカーボン生態系ビジョン>

【取組内容(ハード対策)】

場 所	泉佐野、田尻 岡田浦、樽井 (R8～R11年度予定)	尾崎、西鳥取、下荘 淡輪、深日 (R4～R9年度予定)	谷川、小島 (R4～R6年度予定)
設置水深	5m以浅	10m以浅	15m以浅
ブロックの イメージ			

【取組内容(ソフト対策)】



スポアバック



母藻・幼体の移植



アイゴの除去



浮泥の除去

取組
方向

②水産資源を豊かにする

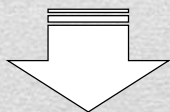
施策8

大阪湾の水産資源の増大とブランド化をめざした 栽培漁業の推進

【内容】 第7次大阪府栽培漁業基本計画に基づき、栽培漁業センターで種苗の生産と放流、水産技術センターでトラフグの生産・放流の技術開発を実施

【実績】

【数値目標】
放流累積尾数
(令和2年度～令和6年度：計150万尾)



令和3年度 **32万3千尾**を放流

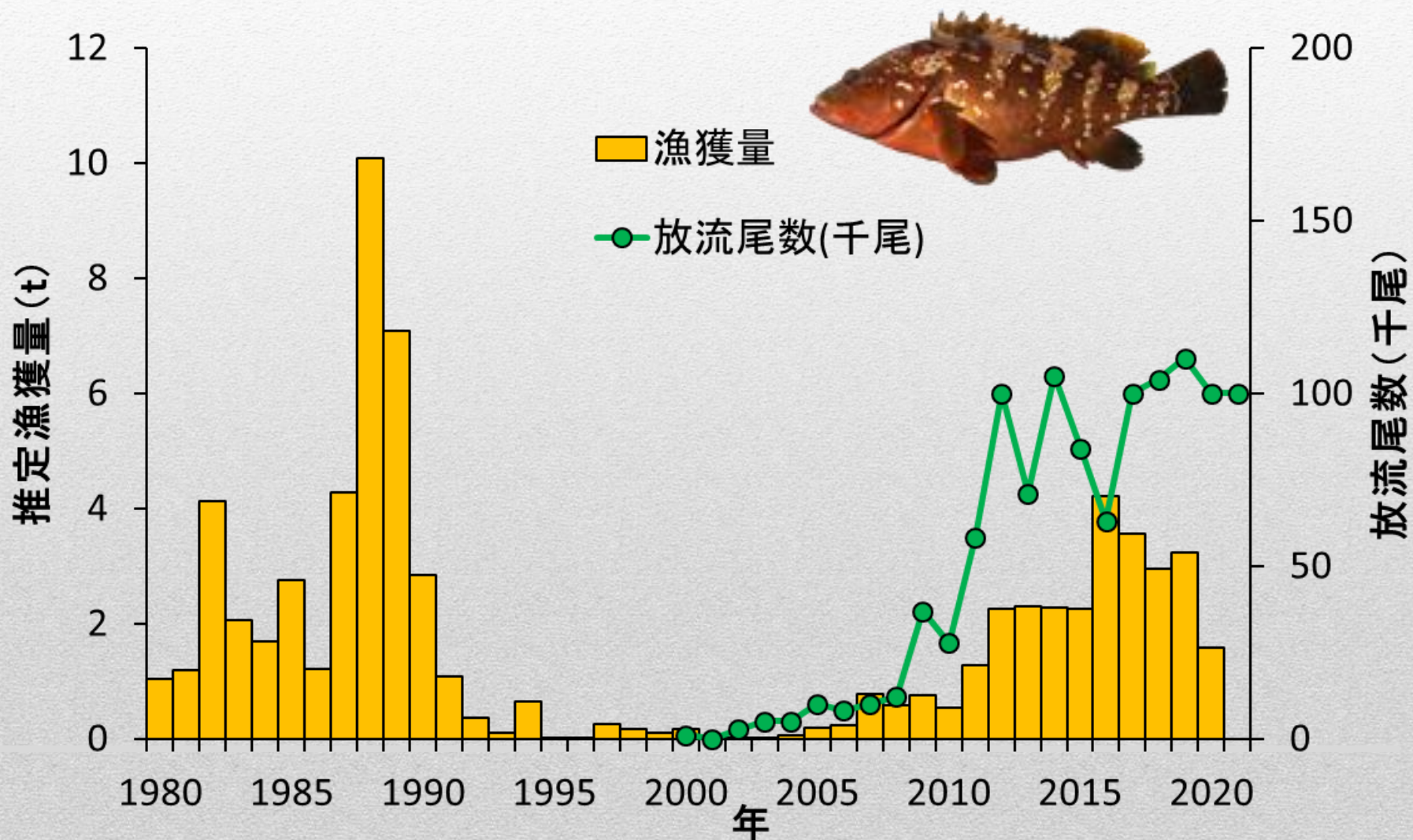
■放流累積尾数 (千尾・千個)

年度	単年度 目標	元	2	3
ヒラメ	100	103	104	123
キジハタ	100	100	100	100
アカガイ	100	80	80	100
(計)	300	283	284	323

次期計画となる第8次大阪府栽培漁業基本計画
(計画期間：令和4年度～令和8年度)を令和4年4月に策定予定

キジハタ（あこう）の放流尾数と漁獲量の推移

(水産技術センターの調査結果より)



取組
方向

③ 漁業者の生活を豊かにする

【流通対策室実施】

施策13 ブランド化や6次産業化の推進による「攻めの漁業」展開

【内容】

＜ブランド化に向けた取組み＞

・株式会社ウエカツ水産 代表取締役 上田勝彦氏 を招き、水産物の付加価値向上を図るため、府内漁業者を対象とした「血抜き・神経締め実習会」を開催した。

■「血抜き・神経締め実習会」開催



【実績】

血抜き・神経締め実習会
《開催日》 令和3年12月2日（木）
《場 所》 南海浪切ホール
《参加者》 府内漁業関係者 14名

漁業関係者向け6次産業化人材育成研修会

申込締切 11月12日 参加費 無料

上田勝彦先生に学ぶ！
血抜き・神経締め実習会開催！

令和3年 12月2日(木) 10:30~13:30

講師 株式会社ウエカツ水産 代表取締役 上田 勝彦氏

付加価値向上！「血抜き・神経締め実習会」
「高アランで食感向上を目指しただけではダメです！」「消費量が少ないので売値を上げたい！」「高アランの目標達成、魚獲増進の向上による収入向上を考えると漁業関係者向け実践研修です。今回、講習をいただくのは、TV番組出演（フエカツサカナ第一編）前のYouTubeチャンネル等で高アランとして活躍される、株式会社ウエカツ水産 代表取締役 上田勝彦氏！
元水産物の現場でありながら、日本の漁業を活性化するため、魚の育ち、売り方を伝える魚の伝道師に転じた情熱な経営者の存在。
魚の育ちや高アランの目標達成を考えている漁業関係者は是非もってお申し込みください。

会場 南海浪切ホール 4F食の交流室
（大阪府東淀川区南港1-1）
（駐車場あり）

対象 魚の育ちや高アランの目標達成、ブランド化を考えている漁業関係者

内容 第1部 血抜き・神経締めの講義（産学）
・血抜き・神経締めについて
・実践による魚の扱い
第2部 血抜き・神経締めの実習（実践）
・上田勝彦先生の指導による実践

講師 プロフィール 上田 勝彦氏
株式会社ウエカツ水産 代表取締役 / 東京海洋大学 客員教授、魚の伝道師
著書 『魚を売れば売れる』（宝島社）、『エビの育て方』（フエカツ水産）（東京書籍）
最終学歴 長崎大学水産学部
資格等 水産試験官（魚の伝道師）
1991年水産庁に入庁、瀬戸内海漁業調査隊隊員、遠洋漁業指導員、資源開発センター、資源管理課で調査
2015年に「株式会社ウエカツ水産」を立ち上げ、「ウエカツ」を合言葉に、漁業者を全面的に支援中

申込 漁業の参加申込書に必要事項を記入の上、FAXでお申し込みください。
※FAX：072-979-7063（受付時間：平日9時～17時）

お問い合わせ 主催：大阪府（流通対策室） 運営：（地独）大阪府立環境農林水産総合研究所
（地独）大阪府立環境農林水産総合研究所
担当者：食品グループ 宮原、西田 TEL. 072-979-7063

取組
方向

④ 新鮮な魚介類を届ける

【流通対策室実施】

施策21 「大阪うみ・かわ・さかな」の魅力発信の推進

【内容】

J:comの大阪産(もん)番組に水産物のテーマを紹介



【実績】

J:COMが令和2年10月に放送開始した大阪産(もん)の特集番組「かもん！おおさかもん!!」R3年度はキジハタ、シラス、カキ等を紹介



キジハタ（8月号前半）



シラス（10月号後半）



カキ（1月特別号）

取組
方向

④-2 新鮮な魚介類を届ける

【流通対策室実施】

施策23 大消費地店舗と漁港とをつなぐ“お魚の架け橋”づくり

【内容】 ・ホテルや料理店、企業の社員食堂、スーパーで企画される大阪産フェアについて、情報提供やP R支援を行った。

【実績】 ・大阪産魚介類の活用促進、P R



コートヤード・バイ・マリオット大阪本町 2階
(釜揚げシラスをトッピングしたパスタやピザを提供)



村川学園 大阪調理製菓専門学校【泉州美食EXPO】
(アカシタ、アカアシエビ、シラス等を使用したコース料理)

取組
方向

⑤ 海や川の魅力を届ける



施策25 「はま」と「まち」のふれあいの場の創出

【内容】 漁協が運営する観光漁業や、青空市場・朝市の情報についてPRを実施

【令和2年～令和6年度(5年間)の数値目標】

【実績】

①青空市場開設数
(R2～R6：8箇所)

→ 令和2年度：7箇所

②青空市場来場者数
(R2～R6：計250万)

→ 令和2年度：235,000人

③内水面漁業権河川利用者数
(R2～R6：計18万人)

→ 令和2年度：27,384人

取組
方向

⑥ 安全・安心を届ける

施策28 大規模な地震、津波等に備えた漁港、海岸の整備

【内容】

○高潮対策が未了となっている7漁港海岸のうち、まず湾奥部に位置する堺(出島)漁港海岸の防潮堤の嵩上げ工事を令和2、4年度に実施。

【実績】

○令和2年度：北側の防潮堤100mを嵩上げ

○令和4年度：北側の防潮堤50mを嵩上げ
南側の防潮堤150mを嵩上げ

事業名	区分	漁港名	事業内容
緊急自然災害防止 対策事業債	単独	堺(出島) 漁港海岸	高潮対策 事業



防潮堤

コロナがプランの施策に及ぼした影響

施策21 「大阪うみ・かわ・さかな」の魅力発信の推進

【内容】

- 学校給食会・府漁連と連携して府内小・中学校の出前魚講習会を実施

【実績】

- 令和3年度は、出前魚講習会の中止
➡大阪府企画室、阪南市役所と連携し、阪南市立上荘小学校にてSDGs出前講座を実施。

①



施策24 「魚庭(なにわ)の海づくり大会」などイベントを活用した大阪漁業の発信

【内容】

- 平成14年から「魚庭の海づくり大会」を実施

【実績】

- 令和3年度は開催中止(第19回大会)
➡「魚庭の大漁旗デザインコンクール」は継続して実施

②



進捗状況の全体的な成果と課題

項目	R2-R6の目標	R2～R3年度(累計)	判定
①キジハタ等放流尾数	計150万尾	60.7万尾	順調
②水産関係の大阪産ロゴマーク登録件数	計130店	133店	順調
③漁港海岸における海岸防潮堤の高潮対策整備の着手率	R6までに7箇所	1箇所着手 ⇒残り6箇所	順調
④漁場等における海ごみ回収実績	計3万m ³	7146m ³ (R2年度実績)	順調
⑤6次産業化による加工品開発数	計20件	4件	遅れ
⑥後継者等新規参入者	計75人	10人	遅れ
⑦出前講習会等の開催	計45件	0回	遅れ
⑧青空市場年間来場者数	計250万人	235,000人 (R2年度実績)	遅れ
⑨内水面漁業河川年間利用者数	計18万人	27,384人 (R2年度実績)	遅れ